

## 臨床研究「インドシアニンググリーン蛍光造影法を用いた

### 遊離深下腹壁動脈穿通枝皮弁の血流に関する検討」について

筑波大学附属病院形成外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

#### ① 研究の目的

遊離深下腹壁動脈穿通枝皮弁（以下 DIEP flap）の穿通枝対側の皮弁領域は血流が悪いことが多く、術中に皮弁の使用可能範囲を判断する必要がある。術中インドシアニンググリーン（以下 ICG）蛍光造影法は皮膚血流を可視化することができ、皮弁使用可能範囲を判断する上で一助となり得る。

術中 ICG 蛍光造影検査を行った DIEP flap 症例に関して、診療録、術中 ICG 蛍光造影検査、術後皮弁壊死の有無等を調査・検討することが目的である。

#### ② 研究対象者

2018年11月から2019年5月までに当院でDIEP flapによる乳房再建を施行し、術中ICG蛍光造影検査を行った患者さん。

#### ③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2021年12月31日まで

#### ③ 研究の方法

2018年11月から2019年5月までに当院でDIEP flapによる乳房再建を施行した症例のうち、術中ICG蛍光造影検査を行った症例の診療録、術中ICG蛍光造影検査結果、皮弁壊死の有無を後ろ向きに調査する。

#### ⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

ICG 蛍光造影検査結果、診療録

#### ⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

佐々木正浩、形成外科、病院講師

#### ⑦ 研究により得られた結果の取扱い

結果の説明は行いません。

研究対象者等の健康状態等を評価するような情報が得られることはありません。

#### ⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

#### ⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：形成外科 佐々木正浩

電話 029-853-3122（形成外科医局：平日9時～17時）